

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/isinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)



来春 憧れの教壇に

宮城県公立学校教員採用試験

人間教育学科3人 合格

2019年度宮城県公立学校教員採用試験（小学校教諭）に、人間学部人間教育学科4年次の佐々木巧さん（宮城県佐沼高）、佐藤ありささん（宮城県小牛田農林高）、菅原楓さん（宮城県多賀城高）が現役合格を果たした。

3人は学科主催の宿泊研修、保育士・教員養成センター主催の教員採用試験対策講座を受講するなど努力を重ね、2・7倍の競争倍率を突破。来年4月から憧れの教壇に立つ。

佐々木さんは「分からないことはすぐに質問し、疑問を残さないように心がけた」と試験勉強のコツを話す。教員を目指す

佐藤さんは「同じ目標を持つ仲間と出会い、良い環境で学ぶことができた」と振り返る。不安定な面接もアドバイスを受けて、自信を持って臨んだ。「今後も勉強を重ね、信頼される先生になれるよう努力していく」

菅原さんは予想問題に取り組みなど筆記試験対策に力を注ぎ、合格を勝ち取った。春からの教員生活に向け「2年次に経験した旧大川小学校での防災教育が印象に残っている。そこで学んだ防災意識や知識をこれから生かしていくと語った。

指導にあたった有見正敏特任教授は「大変うれしく思う。1年次から真摯に取り組んできたことが結果となって表れた」と喜びつつ、「常に謙虚で学ぶ姿勢を持つこと、主体的な取り組みをすること、協働して解決に当たることが忘れない先生になってほしい」とエールを送った。

アプリ活用 コーチング学ぶ 硬式野球部員



マネジメントの対象がスポーツ分野にも拡大している現在、情報通信技術（ICT）を活用したコーチング方法の習得を目指す経営学部の特設講義「データコーチング演習」が後期から開講されている。硬式野球部に所属する学生が受講し、コーチング理論や遠隔指導アプリの使い方を学んでいる。

10月24日は、遠隔指導アプリ「スマートコーチ」の講義を熱心に聞く学生。

マネジメントの対象がスポーツ分野にも拡大している現在、情報通信技術（ICT）を活用したコーチング方法の習得を目指す経営学部の特設講義「データコーチング演習」が後期から開講されている。硬式野球部に所属する学生が受講し、コーチング理論や遠隔指導アプリの使い方を学んでいる。

10月24日は、遠隔指導アプリ「スマートコーチ」の講義を熱心に聞く学生。

「母校を訪れた際、野球部の後輩を指導する機会があったが、自信を持て教えることができなかった。講義を聞き、コーチングに興味を持ったので、しっかりと理論を学ぼう」と話した。

盛盛城さん（経営3・福島県福島高）は「自分の知識、技術向上にもつながるので真剣に取り組んでいく」と語った。

石巻専修大学ではソフトバンク株式会社、石巻市とICTの活用を目的とした包括連携協定を結んでおり、今年2月には本学硬式野球部と山下中学校野球部が参加し、部活動支援の実証実験を行った。

後期授業では、この実証実験の成果を踏まえ、ICTを活用した部活動支援に本格的に取り組む。

AIを活用し システム制作

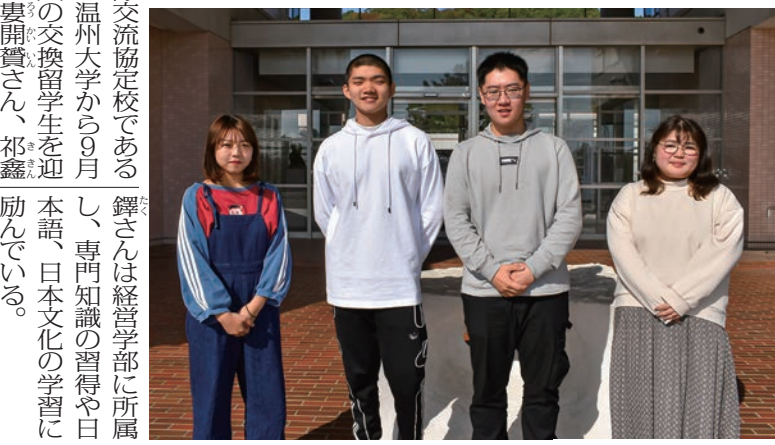
4年次生たちが独自の視点で取り組んでいる卒業研究も終盤に差し掛かった。理工学部情報電子工学科の亀山充隆研究室（知能システム研究室）に所属する佐藤透政さん（右）が、AIを活用したスポーツのコーチングシステム（秋田県角館高）は「モーション認識によるスポーツコーチングシステムをテーマに、人工知能（AI）を活用したスポーツのコーチングシステムの制作に取り組んでいる」。

「野球のバッティングについて、初心者が正しいスイングフォームを身につけられるように、AIが技術指導を行うシステムを目指している」と話した。

佐藤さんは「制作中のシステムでは素振りの連写画像からAIが「正例」に近いフォームなのか「負例」に近いフォームなのかの識別を行い、科学的、論理的にアドバイスを送り、改善に導く。現在は硬式野球部員ら10人の協力で模範学習データを収集している。スライクゾーンを9分割し、各コースに合った正しいスイングモーションを撮影。収集したデータをインプットし、AIが自ら特徴を抽出、認識できるように学習させている」。

「亀山教授や大学院生に相談し、完成に向けて試行錯誤を重ねていく。さまざまな困難をクリアしながら、システムを作り上げていく過程が情報電子工学科の楽しいところ」と笑顔で話した。

中国・温州大から2人の交換留学生



国際交流協定校である中国・温州大学から9月に2人の交換留学生を迎えた。豊開貴さん、祁鑫さん。

豊開貴さんは経営学部所属で、専門知識の習得や日本語、日本文化の学習に励んでいる。

祁鑫さんは「納得いく走りかできた。この経験を来年に生かしたい。皆さんの期待に応えられるように今後もトレーニングに励む」と語った。

＊出場メンバー（敬称略）

▽1区・齋藤凛▽2区・佐藤亜海（経営1・宮城県聖和学園高）▽3区・戸澤愛織▽4区・佐藤佳乃（人間1・山形県酒田南高）▽5区・千葉彩有花（人間2・宮城県常盤木学園高）▽6区・庄司琴美（経営4・宮城県聖和学園高）

日本での生活に期待を膨らませる豊さん（左から2人目）と祁さん（同3人目）。左はSAの奥山さん、右は後藤さん。

日本のアニメと食文化に興味があり、「日本文化論の講義が面白い」と話す豊さん。「日本語の習熟に努めつつ、日本の学生が課題を解決する際の思考法を学びたい。日本と中国の経済協力を橋渡しするという夢があり、日本の大学院にも通りたい。そのために石巻専大で知識を深めた」と意欲を語った。

祁さんは「教育面でサポートを受けながら、日本で学生生活を過ごす。」

総合24位 杜の都駅伝

女子競走部が2年連続4回目となる第37回全日本大学女子駅伝対校選手権大会（杜の都駅伝）10月27日、宮城県仙台市）に出場した。6区間中4区間に1年次生を起用するフレッシュな布陣で挑み、1区の齋藤凛さん（経営1・宮城県聖和学園高）が区間12位、3区の戸澤愛織さん（人間1・青森県八戸学院光星高）が同10位と力走。総合24位（2時間21分38秒）でゴールした。

戸澤さんは「納得いく走りかできた。この経験を来年に生かしたい。皆さんの期待に応えられるように今後もトレーニングに励む」と語った。

＊出場メンバー（敬称略）

▽1区・齋藤凛▽2区・佐藤亜海（経営1・宮城県聖和学園高）▽3区・戸澤愛織▽4区・佐藤佳乃（人間1・山形県酒田南高）▽5区・千葉彩有花（人間2・宮城県常盤木学園高）▽6区・庄司琴美（経営4・宮城県聖和学園高）